

Agri Road

アグリロードながおか
長岡市担い手育成総合支援協議会（事務局／長岡市農林水産部 農水産政策課）

No. **38**
2023. 3. 31
発行

特集 農業情熱ランナー～挑戦への道～ 持続可能な農業の実現に向けて

[information]

環境にやさしい農業しませんか？

きちんと対策！ NO作業事故！

農業使用にご注意ください

[農政 VOICE]

スマートアグリで飛躍の年に



長岡うまい米コンテスト最優秀賞は山古志営農組合さんが受賞!!

第14回を迎えた長岡うまい米コンテストがこのたび開催され、合計202点の出品米の中から厳正なる審査を経て、山古志種芋原の山古志営農組合さんの栽培したコシヒカリB Lが最優秀賞に輝きました。

当日は、最終審査会のほか、お米フェスタが開催され、長岡発のブランド米「金匠」の特製おにぎりの配布や餅つき、米粉手作り体験などがあり、大人から子どもまでたくさんの方が長岡のお米を楽しんでいたようです。

個人部門 (敬称略・五十音順)

最優秀賞 山古志営農組合

優秀賞 木村 晃、佐藤 幸夫、八子 常雄

金匠 小川 保、佐々木 伸市、佐藤 大、佐藤 達典、農事組合法人 下塩農産、農事組合法人 城之丘アグリメイト、株式会社 すよし農事、中村 明男、株式会社 ほそかわ農場、三浦 昇五、箕輪 俊美、諸橋 昇一、八子 常雄、渡辺 利彦



学校田部門

最優秀賞 希望が丘小学校

優秀賞 上塩小学校

優良賞 川崎小学校
岡南小学校



▲ 米・食のプロによる最終審査

担当：長岡うまい米コンテスト実行委員会事務局（長岡市農水産政策課農村政策係）

環境にやさしい農業しませんか？

環境保全型農業直接支払制度は、地球温暖化防止や生物多様性保全などに効果の高い取組を実践する農業者を支援するものです。

この制度を活用し、環境にやさしい農業に取り組んでみませんか。



● 対象取組の具体例

- 堆肥の施用 4,400円/10a（最大）
- 長期中干し（14日以上の中干しを実施）800円/10a
- 秋耕（水稻の収穫後に耕うん）800円/10a
- 有機農業 12,000円/10a など

※化学肥料・化学合成農薬を地域の慣行レベルから原則5割以上低減する取組と対象取組を合わせて行うことが必要です。

お問い合わせ

長岡環境保全型農業推進協議会事務局
（長岡市農水産政策課農産係） TEL 0258-39-2223

きちんと対策！ NO作業事故！

毎年多くの農作業事故が発生し、長岡市内でも昨年1件の死亡事故がありました。特にトラクターなどの乗用型機械での作業事故が多いことから、転落・転倒対策を徹底し、ゆとりをもって農作業を行いましょう。

- ヘルメット・シートベルトの着用徹底
- 安全フレーム付きトラクターの使用
- ほ場の出入り口の安全点検 など



● 道路に泥を落とさないように注意

車道や歩道に落ちた泥のかたまりは、自動車だけでなく、歩行者や自転車などの通行の妨げになり大変危険です。公道に出る際には、機械類に付着した泥を落としてから走行してください。やむを得ず道路を汚してしまった場合は、速やかに泥の除去・清掃をしていただき、事故防止・環境美化に御協力ください。



農薬使用にご注意ください

学校、公園及び住宅地に近接する農地等で農薬を使用する場合は、飛散防止の徹底に努めましょう。

● 農薬の使用には最大限の配慮を

農薬は飛散すると周辺住民の生活環境や健康に悪影響を及ぼす場合があります。また最近では、ドローンによる農薬の空中散布が増えていることから、飛散防止にはより一層の配慮をお願いいたします。

- 風の強い日は避け、風向きに注意する
- 人通りの多い時間帯に散布しない
- 散布区域・回数は最小限に留める



スマートアグリで飛躍の年に 長岡市農林水産部長 北村 清隆

今年の十二支は「卯」ですが、十干十二支では「癸卯（みずのと・う）」です。「卯」は、「跳ねて飛躍し向上する」と言われ、「癸」は「種が大きくなり花開く直前」の意味があるそうです。

農作物の花が開くだけでなく、皆さんの今までの取り組みが大きく花開き、実をつけ、飛躍する年になることを願って止みません。

市では、新たな作物への挑戦、有機農業への取り組み、そして、スマートアグリを導入を推進するため、「あぐらって長岡」にトライアル施設を設置しました。

農業情勢を取り巻く環境は年々厳しさを増す中で、規模拡大には労働力の不足が大きな足かせとなっているのではないのでしょうか。作業効率向上のための自動操舵、遠隔での水管理、新たな作物への取り組み、「それ、全部あぐらってで体験できます！」

大勢の皆様から体験していただき、今後、ますます進化していくスマート農業に先導的に取り組んでいただきたいと思います。

市が蒔いたスマートアグリの種類を、育て・花を咲かせ果実とするか、枯らせてしまうかは、農業者の皆さんの取組みにかかっています。是非とも大きな花を咲かせ、価値ある果実として収穫してください。

そして来月は「卯月」です。卯月の語源は「卯の花が咲く月」「稲を植える植月（うゑつき）が転じた」など諸説ありますが、いずれも、農耕や万物の循環の始まりを語源にしているようです。

癸卯年の卯月を迎え、農作業が本格化することと思いますが、安全な農作業に留意いただき、農作業事故の無い1年になりますことを心よりお願いいたします。

ちなみに、私は「癸卯」生まれです。2年間という短期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。



持続可能な 農業の実現に向けて

昨今の農業では、担い手の減少や高齢化により労働力不足が課題となっており、そんな課題の解決手段の一つとして、スマート農業の導入が注目されています。スマート農業とは、ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用する農業のことを指します。



お話を伺った金子さん

農業の楽しさ

小さいころから、実家の農業の手伝いをしてきた金子さんは、昔ながらのきつい作業を伴う農業が好きではなかったため、就農する気はなかったそうです。しかし、高校卒業後、なんとなく農業を学んでみようかなとの思

いつまで農業大学校に入学。そこで農業に対する気持ちが変わったとおっしゃいます。

「今まで好きではなかった農業ですが、意識の高い仲間との出会いや農業技術を学んだことで農業を楽しんでいると思うようになりました。」

卒業後は、一年間農業生産法人の有限会社百笑会での研修を経て自家就農し、自分なりの事業体系にしたいと思い、スマート農業などを取り入れ始めたそうです。

また、肥料・農薬メーカーの実証を積極的に受け入れており、最近ではプラスチック被覆肥料の代替として期待されるペーセント二段施肥や微生物の力を使った農業資材「バイオスティミュラント」など環境に配慮した実証栽培も行っているとのこと。

「研究するのも好きなので、メーカーさんの実証試験栽培で面白いと思ったものはどんどんやってみようと思っています。これらの成果が長岡をはじめ、農業の発展に役立てられればいいなと思います。」

スマート農業の活用

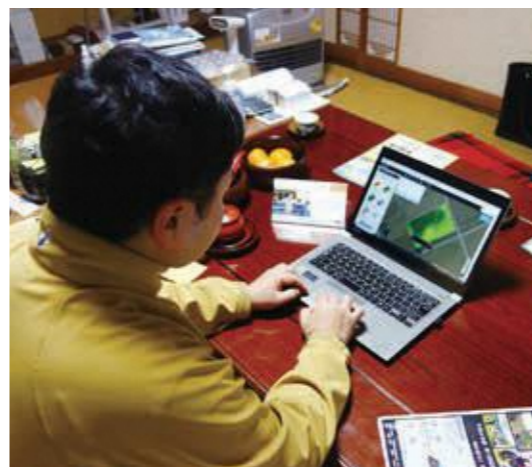
金子さんは、ドローン、トラクターの自動操舵システム、栽培管理支援システム、水管

理システムなどを導入しているとのこと。

「ドローンは導入して作業がかなり楽になりました。母親と2人で作業していることもあり、力仕事をどれだけ少なくできるかを考えていたので、導入して良かったと思います。また、以前は作業負担のため躊躇していた追肥も、ドローンを使用することで散布のハードルが下がり、その結果、生育も安定して収量も増加するなど、メリットがたくさんありました。ただ、「コスト的にはブルドーザー位と感じています。」

トラクターの自動操舵システム導入時は、そのコストに着目して、後付けタイプのもを選択したとのこと。

「おそらく、数年後には、無人走行のトラクターが普及してくると予想しているので、それまでは、自動操舵機能が備わった最新鋭のトラクターを購入するのではなく、中古のトラクターへの後付けや代替えができる自動操舵システムを導入することにしました。最



栽培管理支援システムを作業する様子

近の後付け型のシステムは、精度も高く、価格も抑えられているので、おススメです。」
そんな金子さんが現在注目しているのが、栽培管理支援システムの機能を活用した可変施肥。早ければ今年度、人工衛星画像で作成した地力マップをもとに、GPSロードキャスターで肥料をまいてみるそうです。

これから導入を考えている方へ

最後に、これからスマート農業を取り入れたい方に向けてアドバイスをいただきました。「スマート農業の導入は、日々の作業負担の軽減が図られるのでおススメですが、経営コストが劇的に改善するような効果はないので注意が必要です。導入を迷っているのであれば、いきなり大きい機械を導入するのはなく、栽培管理支援システムなどのソフトや水管理システムなどの比較的導入コストが低いものから始めるのがよいと思います。」

今回お話を伺った金子さんは、新しい技術や機械にいち早く反応し、試してみようという行動力で農業における課題に取り組みでいらっやりました。変化をもたらすには、まっすぐにやってみようという姿勢が何よりも大切だと改めて実感しました。また、スマート農業の導入によって農作業のハードルが下がり、経験値の大きさに関係なく女性や若者の農業参入も促進されるのではないのでしょうか。
お忙しい中にも関わらず、快くお話を聞かせてくださいました。金子さん、ありがとうございました。

持続可能な農業を目指したスマートアグリを導入を支援

令和5年度 スマートアグリ導入促進補助金 はじまります！

近年、農業者の減少や高齢化が急速に進み、一経営体あたりの作業面積が拡大しているため、負担が増加しています。

そこで、長岡市では、スマートアグリを導入することで、労働力不足の改善や新規就農者・女性の活躍を促進し、持続可能な農業の実現を目指す取組を支援します。

作業の効率化を目指す皆さま、ぜひご活用下さい。



対象者	要件	補助率	補助金上限額
市内の認定農業者で経営面積15ha以上の方 (中山間地域は10ha以上)	長岡市スマートアグリトライアル 施設での研修受講	50%以内	100万円

制度の詳細は長岡市HPにてご確認ください。

担当:長岡市農水産政策課農村政策係

担い手農家の 支援事業



担い手農家の皆さんを支援する補助事業を紹介します。詳細については、長岡市農水産政策課 (TEL: 0258-39-2223) へお問い合わせください。

主な補助事業

- 新潟県農林水産業総合振興事業 (県)
- がんばる担い手農家の資本装備等支援事業 (市)
- 技術習得又は経営移譲に向けた研修支援事業 (市) など

例年8月頃に次年度の事業要望を受け付けています。令和6年度に補助事業の実施をご検討されている場合は、農水産政策課またはお近くのJAへお早めにご相談ください。

「人・農地プラン」から 「地域計画」へ移行します！



長岡市では、現在、市内を12の地区に分け「人・農地プラン」が作成されておりますが、昨年農業経営基盤強化促進法が改正され、「人・農地プラン」は「地域計画」と名称を変えて、令和7年3月末(予定)までに計画を策定することが定められました。

長岡市では、この2年間で、地域の農地の出し手・受け手の方の今後の意向を把握し、10年後に目指すべき農地利用の姿を「目標地図」として落とし込み、地域の担い手の皆さんを中心とした協議によって計画を策定してまいります。

具体的な進め方は、今後各地域を対象とした説明会においてお知らせしたいと考えておりますので、皆さんも、地域農業の今後についてを改めてお考えいただくとともに、制度へのご理解、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。

担当:長岡市農水産政策課担い手育成係